

## 授業改善等に関する報告書（2023年後期）

## 授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2023 (後期) 食生活科学科 健康栄養専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
バイオテクノロジー概論	山崎 壮	ゲノム編集食品や食肉代替食品など今進展している食糧問題から、移植医療・バイオ医薬品、さらには生殖医療や妊娠・避妊、出生前診断、生命倫理問題まで、生命科学とバイオ技術が深く関わっている事項を広くとりあげましたが、興味を持ってもらえたようです。授業最後に皆さんに行ってもらった課題発表からもそれを感じました。皆さんの発表は各自がどんなテーマの何に興味を感じたのかを知ることができておもしろかったです。 また、ほぼ毎回の授業で、宿題として、NHKテレビ番組録画やYouTubeの講演会録画を視聴して、動画の概要と感想をまとめてもらうことを行っていましたが、宿題とした動画が好評であったのはよかったです。
ライフステージと食育	白尾 美佳	ライフステージと食育は皆さん方が今後の生活にも活用できるかと思えます。今後も授業改善について検討していきたいと思えます。
ライフステージ栄養学b	於保 祐子	ヒトの体と栄養の関係について理解したうえで、ライフステージごとに栄養学的に重要な点を整理できるよう講義しました。習得した内容を今後の活動に役立てていただけると幸いです。
ライフステージ栄養学実習	白尾 美佳	ライフステージ栄養学は栄養士の仕事だけではなく、皆さん方の生活にも生きていくと思えます。授業内容などについても今後検討しより良い授業にしていきたいと思えます。
栄養指導実習b	長谷川 めぐみ	本実習は、栄養士としてのスキルを学ぶことを中心に展開しました。大勢の学習者の前でのプレゼンテーションも次第に身につく学生諸君は真摯に学びました。その点を高く評価したいと思います。
栄養指導論b	長谷川 めぐみ	栄養指導論bは栄養士業務に欠かせないスキルと根拠を学ぶ講義です。学生のみなさんは、真摯に受講し学修しました。その点は高く評価したいと思います。
栄養生化学実験	中村 彰男	「栄養生化学実験」は難しい実験内容を頑張ったと思えます。実験を通して、「観察力」「協働力」そして「自ら主体的に考える力」を養っていただけたらうれしい限りです。大学では教員が解答をすべて持っているわけではありません。特にこの実習で取り上げた「生命科学」の分野は日進月歩で何が正解かは研究者間でも一致していません。教員に聞いてもわからないことだらけです。そのようにわからないことを自分で考えていく力を養うきっかけになれば幸いです。
解剖生理学b	寛 慎治	解剖生理学b(機能的側面を重視)は、解剖生理学a(構造的側面を重視)とのつながりを丁寧に説明することを心掛け、また、臨床医学の内容を理解するための基礎力を付けていただけるように務めました。皆さんのアンケートから判断して、概ねその目的に近づくことはできたようですが、講義資料の文字の大きさ等に改善の余地があるようです。もう少し内容を絞り込むことで対応したいと思います。解剖生理学bでも講義をzoomで行い、講義ビデオを残すことで復習や、欠席者の便宜を図りましたが、その点については好評だったようです。次年度も引き続き行いたいと思えます。ありがとうございます。
解剖生理学実験	寛 慎治	解剖生理学実験は、解剖生理学a、解剖生理学bの理解の基礎の上に、本物、実物を観察して実感していただくことを目標に講義を行いました。皆さんのアンケート結果から判断して、満足していただけたようですので、概ねその目的に近づくことができたようです。特にラットの解剖はこの実験の最も重要な要素と考えて力を入れておりますが、よい経験になったという感想が多く、安心致しました。このフィードバックを考慮して、今後の講義を改善し、より多くの皆さんにご自分の成長を感じていただけるようにしたいと思います。ありがとうございます。
基礎調理	数野 千恵子	すべての項目で良い評価をいただき、実習は楽しかった様子がうかがわれ、うれしい結果です。包丁をあまり使ったことがなかった人も使う機会が増えたと思えます。効率よく料理することが、おいしさや、安全につながり、そのためには下準備がとても大切なことを理解したとの感想もいただきました。栄養士課程でもありますので、上手に包丁が使えるように経験を増やしてください。次年度以降も、成長を実感できるような授業を工夫していきたいと思えます。
給食計画論	中野 美樹	特定給食施設における衛生管理(大量調理施設衛生管理マニュアル)の重要性と理解を第一に優先しました。入学後の調理実習に際しても衛生管理の重要性については早くからの知識と理解がとても重要です。アンケート結果でのご意見では衛生管理の理解が深まったとのコメント多くよせられており、よかったですと思えます。
給食実務校内実習	中野 美樹	通年授業であり、その間の夏休みには校外実習にも行ったことで、後期実習では学生の技術力が向上したと思えます。実習について説明が不足していた内容については、適宜、その項目を追加し説明を補足しました。
給食実務校外実習	中野 美樹	校外実習前の授業では、実習先の具体的な様子について事前により詳しく説明し、事前イメージがわくように工夫します。実習先では、全員がよく頑張っており取り組むことができていたと思えます。
献立学	奈良 典子	今後の参考とさせていただきます。
公衆栄養学b	長谷川 めぐみ	授業アンケート回答を促すことを失念したため、解答者が少なかった。今後はアンケート回答を促すよう配慮いたします。

[2023 (後期) 食生活科学科 健康栄養専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
食のリスク管理	山崎 壮	履修者6名の少人数の対面授業であるメリットを活かして、教員と学生、また学生同士が活発にしかも気楽に意見交換しながら授業を進めていけたと、学生も教員も感じていたことがこの授業の特徴でしょう。食を取り巻く「正解」がない社会問題を取りあげて、履修者に対して自ら課題を見つけて調べ、自分の考えをまとめ、プレゼンすることを行っていただきましたが、履修者の皆さんが授業を通して科学的根拠に基づいて食のリスクを考える姿勢が成長したと感じました。教員としてうれしいです。
食事摂取基準論	長谷川 めぐみ	授業アンケート回答実施を促すことを失念したため、回答者が少なかった。この点は今後留意し、改善いたします。
食品衛生学 a	白尾 美佳	将来栄養士免許を取得できることから、大切な科目です。皆さん方が、食品衛生学を理解できるようにさらに検討していきたいと思います。
食品衛生学 b	白尾 美佳	将来栄養士になる際に、大切な科目です。皆さん方に発表していただきましたが、発表いただいた内容はしっかりと理解できたかと思えます。今後も皆さん方の理解が深まるよう検討していきたいと思います。
食品衛生学実験	大道 公秀	授業アンケートを読ませていただく限りでは、おおむねは良好な評価をいただいたと思えました。授業展開について、良い評価をいただいた受講生もおられました。引き続き、わかりやすく説明し、授業内容をご理解いただけるように努めてまいります。また授業当日に、学びの整理をできる機会があったことが良かったという意見もございましたので、引き続き、その都度、学びの整理ができるよう工夫してまいります。実験室の入室では、靴ひもなしを指定されていたことについてのご意見がございましたが、その必要性も見直すようにいたします。ご意見ありがとうございました。この科目への期待の高さを感じつつ、引き続き、授業展開をブラッシュアップしてまいります。ありがとうございました。
食品加工学 b	守田 和弘	総合的な満足度が全体平均より高いことから、満足に取り組んでいただけたものと思えます。
食品加工学実習	守田 和弘	実習おつかれさまでした。総合的な満足度が全体平均より高いことから、満足いただけたものと思えます。
食品学 b	白尾 美佳	食品学 b では皆さん方の発表を中心としていただきました。発表していただくことでいろいろな視点で理解が深まったかと思えます。今後も授業改善を検討していきたいと思います。
生化学 b	中村 彰男	「生化学 b」は栄養士になるための重要な基幹科目です。栄養素がどのような栄養システムで健康に関与するかを理解していないと栄養士として社会で活用ができません。できる限りわかりやすく講義しましたが、学生さんにより理解度は異なります。そのため、わからない部分はそのままにしないで、積極的に遠慮なく教員に質問して知識として積み上げていきましょう！
調理学	数野 千恵子	「調理や食品について理解が深まった」、「調理に活用できる知識が増えた」などのコメントを多くもらって、調理学に興味を持ってもらえたことがうかがわれ、うれしく思います。調理実習と同時期に座学を実施していることから、現象面からも理解してもらえたものと思えます。日常の料理でも、なぜこのような操作が必要かを常に考えながら、科学的においしさを追及してみてください。自己の成績評価が低かったのが残念ですが、試験の成績に不安があったものと思えますので、今後は5択の小テストなども考えてみます。
微生物学	守田 和弘	総合的な満足度が全体平均より高いことから、満足して取り組んでいただけたものと思えます。
分子生物学	松島 照彦 山崎 壮 於保 祐子 中村 彰男	全体として少し難しいところがあったかもしれませんが、楽しく学べたようで良かったです。 2024-03-06 16:48:39 - 松島照彦  「分子生物学」は、高校の「生物」で取り上げているものの、大学の専門科目では取り上げなかった領域である細胞生物学と免疫学をもっと学びたい学生を対象にした発展的授業と位置づけていました。「ああそうだったのか」と合点してもらえればよい、教養的知識を学ぶ教養科目講義でした。「総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」の質問に対して、「とてもよくあてはまる」が47%、「どちらかというにあてはまる」が47%であったので、「教養科目」としては合格点をもらえたと理解しています。 期末課題として5分程度のプレゼンテーション動画を提出していただきましたが、提出物の約2/3に満点を含む高評価を付けました。自分で発表資料をつくるのがよい勉強になっていたと感じました。 2024-03-17 00:01:27 - 山崎壮
臨床栄養学 a	松島 照彦	少し難しかったかもしれませんが、楽しく学べたようで良かったです。これからも頑張ってください。